

東広島市・広島大学教育ビジョン研究センター連携
「広域交流型オンライン社会科地域学習」2022年12月実施要項

1. 目的

広島大学教育ビジョン研究センターが開発した「のん太の学び場」（東広島市地域学習用デジタルコンテンツ）と東広島市教育委員会作成の小学校社会科副読本を効果的に連携させた広域交流型オンライン社会科地域学習の実施を通して、児童の主体的、対話的で深い学びを創造する。

2. 実施内容

- 市内の小学校、学習対象となる地域・施設と広島大学がオンラインでつながって、遠隔授業を行う。
- 遠隔授業の全体進行は、大学の担当者（T1）が行う。各教室での指導は、各学級の担任等（T2）が行う。
- 可能な範囲で、参加校には大学より技術的なサポート要員（T3）を派遣し、授業準備、授業運営支援、ICTの活用支援等を行う。
- 遠隔授業では、児童が自分のタブレットから参加できる機会を設ける。

3. 授業の日時および参加予定校

- 2022年12月7日（水）3時間目：10：25～11：10，4時間目：11：15～12：00
- 東広島市内小学校校の5年生（2校4学級120名）
寺西小（3学級101名），原小（1学級19名）

4. 単元名および目標

- 単元名 「メディアはどのようにしてりえきを得ているのだろうか??」
- オンライン地域学習の単元目標
 - 【知識・技能】新聞やホームページを読んで、メディアの発行数や発行頻度、配布先、記事の特性、価格などを理解できる。
 - 【思考・判断・表現】新聞、テレビ、インターネットなどのメディアが利益を出すことができる仕組みを、次の2つの視点から説明することができる。
 - ①情報を出したい人からの広告収入（無料化）、②情報を欲しい人からの課金収入（有料化）
 - 【学びに向かう姿勢】新聞やインターネット等のメディアが発信する情報を批判的に読み取り、生活に活かそうとしている。また、自分も情報の発信者になろうとしている
 - 【ICT】タブレットを操作して自分の判断を発信できる。オンライン環境を使って、他校と意見を共有したり、一緒にまとめることができる。

- ・赤色：タブレットの活用場面
- ・黄色：各学級メインの活動場面
- ・青色：中継場面
- ・PCの基本操作：手を挙げるボタンを押す，発表時のミュート解除，スプレッドシートに入力する等
- ・発表の基本過程：教師と児童でやりとり→発表者を決める→カメラ前でスタンバイ→同じ答えがでたら戻る

○ 本時の目標

- ・ 1/2時：プレスネットが，新聞を購読しない人々をターゲットとした，広告収入による無料新聞であることを説明できる（思考・判断・表現）。
- ・ 2/2時：新聞，テレビ，インターネットなどのメディアが，（一見すると）無料で情報を発信できている理由を説明できる（思考・判断・表現）。

5. 授業展開

T1 (草原) の動き	予想される児童の反応	T2 (学級担任) の動き	ホスト (広大) と中継先の動き
<p><導入:これってなに> Q1. みんなはこれを知ってるかな？知っていること教えて？ (5)</p> <p>Q2. のん太アンケート プレスネットは「新聞」といっていいか？→ そうだ or ちがう (5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポストに入っているのを見たことあるよ，家の人を読んでいたよ ・プレスネットだよ ・これは新聞だよ。地元のニュースが載っているよね ・新聞じゃないよ。いろいろなお店の宣伝チラシじゃないかな 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童端末をネット接続させる。 ・ディスプレイの音声を調整する ・【資料1】を掲示する ・端末での入力を支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ・T1 と参加校との事前交流（挨拶，音声・カメラテスト）を支援 ・OP 動画の再生（開始 12 分前） ・残り 30 秒のカウントダウン表示（タイマー音は消す）
<p>【第1時のめあて】 プレスネットには，ふつうの新聞とは違う，どんな特色があるだろう？</p>			
<p><展開:プレスネットを調べよう> Q3. 「プレスネット」について，紙とネットで調べよう (15)</p> <p>①まずプレスネットの紹介動画を見てみよう</p> <p>②次のことを調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何枚発行しているか（発行数） ・いつ発行しているか（発行頻度） ・どんな記事をのせているか（特色） ・いくらで手に入るか（価格） ・どのように届ける（配布方法） ・どこの人が読めるか（配布先） <p>③プレスネットさんにたずねて，答え合わせをしよう</p>	<p>（○：HP より，△：紙面より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○60,000 枚発行しているのか △毎週1回。だから正式の名前は「ザ・ウィークリー・プレスネット」だね ○△東広島の記事が多いね ○えええ，タダだ ○家まで配達してくれるよ ○△東広島市内の 80%の家に届いているね 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ活動を始める前に，班体系にする。各班に1部プレスネットを配布する ・①HP（のん太アンケートのページにリンクあり）と②紙面（資料1）で，5分ほど調べさせる。 ・6つの点について分かった児童に順次発表させ（どこから，何が分かったか），それをみんなで確認し共有していく ・分かったことは，ワークシートに記入させる ・インタビューを聞きながら，答え合わせをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレスネットを紹介した【動画1】を1分を流す ・調査 URL のリンクを，のん太アンケートのページに貼っておく <ul style="list-style-type: none"> - 会社概要 - 配布率 →【調査 URL】は6頁に掲載 ・プ社をスポットライト

<p>Q4. 「プレスネット」の様々な工夫から、作っている人々の願い（発行目的）を予想しよう？（10）</p> <p>①中国新聞と比べて、作っている人の願いは同じだろうか？違うだろうか？</p> <p>②プレスネットさんの声を聞いてみよう</p>	<p><同じ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・正確なニュースを、早く読者に届けたい、だよ（早さは、テレビやインターネットにかなわないね） ・広島県のニュースを詳しく伝えたい、ではないかな <p><違う></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に東広島のことを伝えたい、だよ <p><プ社の話を聞いて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家で新聞をとっていない人、とくに若い人にも地元の（お買い物）情報を伝えたい、のかあ。だから無料で家まで届けているんだね 	<ul style="list-style-type: none"> ・【資料2】を掲示する。3分ほど児童の考えを聞く（あらかじめ中国新聞の取組と作り手の願いを学習しておくことが望ましい） ・中国新聞と同じ点、または違う点、どちらかに絞って考えを集約してもよい ・発表できる代表児童をカメラの前に座らせ、「手を挙げる」を押す→指名されたら発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・指名された学級をスポットライト ・プ社をスポットライト
<p>Q5. なぜ「プレスネット」は無料で届けることができるの？（8）</p> <p>①予想してみよう</p> <p>②資料を見て見て、無料の理由を説明しよう</p> <p>③プレスネットさん、このサイズだとおいくらですか？どんな広告が多いですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うーん、どうかなあ ・なるほど！広告をのせているのか ・題字の横の「病院」で5.5万円、1面下半分の「とこや」で31万円。「建築士」のコラムで39万円、「議員」の報告で13.5万円。裏1面の「Ks電気」は110万円かあ。思ったより高い/安いね ・地元の家や土地、求人、食べ物屋やお店、塾の広告が多いのかあ 	<ul style="list-style-type: none"> ・【資料3】を掲示する 3分ほど児童の説明を聞く ・【資料1】の該当箇所を指さししながら、その広告の内容や大きさと広告料を確認させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・プ社をスポットライト
<p><終結：特色をあらわそう></p> <p>Q6. 「プレスネット」はどんな特色をもったメディアだろうか？（2）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中国新聞とは似ている所もあれば、違う所もある「新聞」だね 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめる 	
<p>【第1時のまとめ】 プレスネットというメディアは、①地元の生活情報に、②広告を合わせた、③無料新聞（フリーペーパー）だ</p>			

<p><導入:私たちが使うメディア> ・「プレスネット」の方々に質問はないかな? (5)</p> <p>Q7. 私たちは、「プレスネット」以外にどんなメディアから情報を得ているだろう? (5)</p> <p>①事前アンケートの結果を確認しよう</p> <p>②これらのメディアとプレスネットが似ているところってどこ?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞よりもインターネット (Yahoo, YouTube, Google, Line など) で情報を集めたり、連絡を取ったりしているね。 ・無料で情報が得られるところが似ているね 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問したい代表児童をカメラの前に座らせ、「手を挙げる」を押す→指名されたら質問 ・発表できる児童がいたらカメラの前に座らせ、「手を挙げる」を押す→指名されたら質問 	<ul style="list-style-type: none"> ・指名された学級をスポットライト ・プ社をスポットライト ・指名された学級をスポットライト
<p>【第2時のめあて】 Yahoo, YouTube, Google, Line は、なぜ無料で使えるのだろうか?</p>			
<p><展開:情報が無料なわけ> Q8. メディアはどのようにして収入(もうけ)を得ているのだろうか? ①予想できるかな</p> <p>②実際に学級で分担して調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Yahoo…原小 ・YouTube…寺西小1組 ・Google…寺西小2組 ・LINE…寺西小3組 <p>(20)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレスネットには「広告」がのっていたね。もしかするとインターネットでもそうだろうか… ・Yahoo には、いろいろな所に広告が出てくるね。大学生の PC の Yahoo の画面と比べると、出てくる広告も違うみたい ・Youtube をみると、広告が出てくるね。自分でお金を払うと、広告を消えるらしいよ ・Google は検索すると、関係するお 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに主担当のメディアを調査し、時間があれば他のメディアの調査に移っていく ・調査は、主に教師用の端末で行う。チャットに貼られた URL をクリックする ①まず大型ディスプレイや黒板の前に児童を集めて一斉指導を行い (広告探し), ②そのあと児童の端末で同じように広告探しをさせてもよい。 ・家の PC では YouTube に広告が表示さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査 URL をチャットに流す - Yahoo - YouTube - Google → 【調査 URL】 は 6 頁に掲載

<p>③報告しよう (5)</p> <p>④グラフから何が分かるかな？ (2)</p> <p>Q9. 「情報はタダだ」に賛成？それとも反対？それはなぜ？ (3)</p> <p><終結:無料のわけを説明しよう></p> <p>Q10. なぜ無料で使えるの？ (2)</p>	<p>店や会社の広告が出てくるね</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LINEにも広告やニュースがあるね。スタンプも売られているよ <p>・広告の出し方が、テレビや新聞中心からインターネット中心に移っているね</p> <p>・一見すると無料に見える情報にも、誰かがお金を払っているよ。メディアは、①情報を出す人からの広告料や、②情報を使う人への使用料(課金)でもうけているよ</p>	<p>れないという子どもにはその理由を考えさせ、【資料4】を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LINEを調べるときは、【資料5】を活用する ・担任が、分かったことを小型ホワイトボード等へ書き出し、カメラに移しながら1分程度で報告する ・【資料6】を提示する <p>・発表できる代表児童をカメラの前に座らせ、「手を挙げる」を押す→指名されたら発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報告する学級をスポットライト ・指名された学級をスポットライト
<p>【第2時のまとめ】 Yahoo, YouTube, Google, LINE は、無料のように見えるが、無料ではない。情報を出したい人に広告料をはらってもらうか、情報を使いたい人に使用料(課金, サブスク)をはらってもらうか、もうけている</p>			
<p>Q11. メディアとの付き合い方について、広島大学の専門家(川口広美先生)のお話を聞こう (3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を使う(読む・見る)ときは、誰が、どんな情報やメッセージを伝えようとしているか、よく注意しよう ・私たちは、情報を使うだけでなく、出すこともできるね。上手にメディアを使えば、いろんな人にメッセージを伝えることができるね 	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞きながら、ポイントを強調する 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後の場面はギャラリービュー

6. 資料

- ・【資料 1】 プレスネットの表面と裏面, 各学級に現物を 11 枚配布 (1 枚は黒板掲示用, 10 枚は班学習用)
- ・【資料 2】 中国新聞の基本情報 (A2 変形, 横長)
- ・【資料 3】 プレスネットの広告料金一覧表 (A2)
- ・【資料 4】 Youtube の広告が消えるプレミアム会員制度 (A2)
- ・【資料 5】 広告のついた LINE の画面 (A2)
- ・【資料 6】 広告額の変化 (A2)
- ・【動画 1】 プレスネットのお仕事 (1 分程度)
- ・【補助資料 1～2】 プレスネット「1 面」「会社概要」「配布率」の調べ活動の指導ポイント (A3×2 枚)
- ・【補助資料 3～6】 Yahoo, YouTube, Google, LINE の調べ活動の指導ポイント (A3×4 枚)
- ・【ワークシート】
- ・調査用の URL
 - プレスネット (会社概要) http://www.pressnet.co.jp/article/company_gaiyo.php
 - (配布率) <https://www.jimo2.jp/pressnet/koukoku/ritsu.html>
 - Yahoo (トップページ) <https://www.yahoo.co.jp/>
 - YouTube (HIkakinTV) <https://www.youtube.com/watch?v=MaDI-p7lctg>
 - Google (「塾」を検索) <https://www.google.com/?hl=ja>